

同時配布：奈良県庁／文化・教育記者クラブ
橿原市政記者クラブ

報道関係者各位

令和4年11月7日
田原本町流鏝馬実行委員会

たわらもとやぶさめ

「第2回 奈良田原本流鏝馬まつり」開催概要発表

3年ぶりの開催に向け準備進む



田原本町流鏝馬実行委員会（会長：服部 誠、事務局：一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構）は、令和4年11月27日に「第2回 奈良田原本流鏝馬まつり」を開催いたします。

令和元年12月1日に、流鏝馬を数百年ぶりに復活させた、「奈良田原本流鏝馬まつり」を開催して以来、コロナ禍で開催することができませんでしたが、本年は「With コロナ」の暮らしの中で、徐々に各地域の活動が始まっております。

「奈良田原本流鏝馬まつり」を再び開催することで、まちの更なる観光振興推進を図ります。

また、約30店舗の「十六市ブース」にて地域の食や名産品の販売を行い、公園で一日楽しめるイベントも同時開催することで、田原本町の魅力を発信し、賑わいを創出することを目指します。

開催概要は別紙をご確認下さい

報道関係者のお問合せ先

田原本町流鏝馬実行委員会 事務局

一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構内 担当：井上

〒636-0300 奈良県磯城郡田原本町 193 TEL/FAX: 0744-33-4560

HP: <https://tawaramoton.com> E-mail: info@tawaramoton.com

【概要】

名 称：第2回 奈良田原本流鎗馬まつり

開 催 日：令和4年11月27日 日曜日（雨天決行）

会 場：唐古・鍵遺跡史跡公園（奈良県磯城郡田原本町唐古 50 番地の 2）

時 間：10:00～15：00（予定）

10:00～ 飲食・物販ブース、演奏会実施（15:00 終了予定）

12:00～ 巡行開始（法貴寺の池神社→唐古・鍵遺跡史跡公園）

13:00～ 流鏑馬執行（14:30 頃終了予定）

主 催：田原本町流鏝馬実行委員会

流鏑馬実施：弓馬術礼法小笠原教場

観覧席：有料席あり（後述）

■特設ホームページ：<https://tawaramoton.com/yabusame/>

【有料観覧席について】

席 種：A ゾーン（1・2 列目）自由席…2,500 円

B ゾーン (3・4 列目) 自由席…1,500 円

販売開始：11/2（水）～ なくなり次第終了

販売場所：観光ステーション磯城の里／田原本駅東口出てすぐ

営業時間：9時～17時（火曜定休）

★会場周辺地図



【当日のアクセス】

イベント当日は公園周辺道路の混雑が予想されるため、シャトルバス計 6 台を巡行予定です。

<シャトルバスルート>

- ①近鉄田原本駅前広場から田原本町立北小学校・幼稚園までの直行便。
- ②下記臨時駐車場を回り田原本町立北小学校・幼稚園までの巡回便。

<臨時駐車場>

・田原本町立北小学校・幼稚園（鍵 155）	…約 160 台
・田原本青垣生涯学習センター（阪手 233-1）	…約 220 台
・奈良県田原本健民運動場（西井上 3-3）	…約 190 台
・田原本町中央体育館（平田 46）	…約 200 台
・（社福）田原本町社会福祉協議会（阪手 336-1）	…約 50 台
・田原本町役場（田原本町 890-1）	…約 60 台

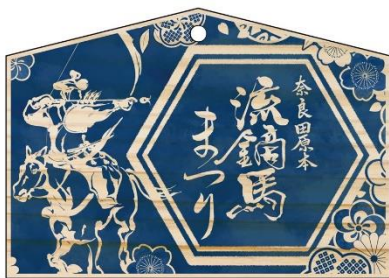
<会場駐車場>

唐古・鍵遺跡史跡公園東側駐車場 …約 60 台 ※シャトルバスは巡行いたしません

【十六市ブース】

飲食・物販や企業 PR など約 30 ブースが出展し、ステージイベントなども同時開催することで、一日中楽しめるおまつりを目指します。

<イベントグッズ販売>



※価格は予定

あたりの 500 円



扇子 2500 円



當的 3000 円

>十六市とは…

昔、毎月16日に浄照寺（田原本町茶町 584）前で門前市があったことに由来し、町の地域活性化の 1 つとして毎年 10月16日に田原本駅周辺で開催されているイベントです。

今回は「奈良田原本流鏝馬まつり」会場で特別開催します。

【参考】

■田原本と流鏑馬

流鏑馬は、武士がその技術を披露して、祭神を楽しませようという芸能の一つといわれ、春日大社の摂社若宮神社の祭祀として行われる「春日若宮おん祭」に、大和の武士が流鏑馬を奉納する習慣がありました。武士集団の中には大和六党と言われる集団があり、田原本町域では、十市氏が主に刀禰を務めた「長谷川党」と呼ばれる武士団が活躍していました。長谷川党の主要な構成員として、現法貴寺集落を拠点としたとされる「法貴寺党」があり、春日若宮おん祭にて流鏑馬を奉納していたとされ、これは1384年の歴史書物「長川流鏑馬日記」に記載されています。時代が流れ大和の武士団は衰退しましたが、地元天満宮（現在の池神社）の祭礼にて流鏑馬の奉納があったと江戸時代初期・1672年の「法貴寺旧例寺役調書」に記録があります。

■弓馬術礼法小笠原教場

小笠原流とは、鎌倉時代から800余年の伝統を誇り、弓馬術礼法の道統を伝承する流派です。小笠原家初代小笠原長清は糾法（弓馬術礼法）師範として源頼朝に仕え、鎌倉時代の象徴である弓馬の道・故実に基づく武家儀式を制定し、武士達の指導にあたりました。長清以降、室町時代は足利家に仕え、足利義満や義政の師範となり、戦国時代を経て江戸時代には徳川家の糾法師範となりました。明治維新により武家社会が終焉を迎えた後、28代清務は東京神田に弓馬術礼法小笠原教場を開設し、一般に流儀を教えながら学校での礼法教育にも尽力しました。そして現在は鎌倉時代から続いてきた流鏑馬などの神事を全国の門人と共に執行し、教場やカルチャーセンターなどで礼法の指導を行っています。

〈教場ホームページ URL〉 <https://www.ogasawara-ryu.gr.jp/>

令和元年 第一回開催時の写真 （撮影：写真家 森山 雅智）



池神社から史跡公園への巡行



流鏑馬執行